別添１

令和５年度厚生労働科学研究費補助金

政策科学総合研究事業（臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業）

歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究

平成５年度　総括・分担研究報告書

研究代表者　長島　正

平成６（２０２４）年　５月

別添２

令和５年度厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次

目　　次

Ⅰ．総括研究報告

歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究 ---------- 1

長島　正

II．分担研究報告

１．　臨床実習と臨床研修で使用できる共通評価項目の策定に関する研究 ---------- 4

長島　正、田口則宏、長澤敏行、新田　浩、大澤銀子、和田尚久

（資料１）臨床実習と臨床研修の共通評価項目

（資料２）C領域の到達目標と共通評価項目の紐付け

２．　評価システムの改修 ---------- 8

長島　正、田口則宏、木内貴弘、秋葉奈美、野崎剛徳

III．研究成果の刊行に関する一覧表 ---------- 10

様式Ａ（８）

厚生労働科学研究費　補助金研究報告書

令和　6　年　5　月　31　日

厚生労働大臣
（国立医薬品食品衛生研究所長）　　殿
（国立保健医療科学院長）

（研究代表者）

研究者の住所	〒631-0805　奈良市右京三丁目７－14
所属機関名	国立大学法人大阪大学
部署・職名	歯学部附属歯学教育開発センター・教授
氏名	長島　正

交付決定日及び文書番号：令和５年５月 25 日　　厚生労働省発科 0525 第 11 号

補助事業名　：令和５年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））

研究課題名　（課題番号）：歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究（２２ＡＣ１００１）

研究実施期間　：令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日まで
2 年計画の 2 年目

国庫補助金精算所要額　：金　９，９４３，０００ 円也（※当該研究課題に係る総額を記載すること）
（うち間接経費　３，３８３，０００ 円）

上記補助事業について、厚生労働科学研究費補助金等取扱規程（平成１０年４月９日厚生省告示第１３０号）第１６条第２項の規定に基づき下記のとおり研究成果を報告します。

記

１．研究概要の説明
（１）研究者別の概要

所属機関・部署・職名	氏名	分担した研究項目及び研究成果の概要	研究実施期間	直接経費の実支出額（円）	間接経費（円）
大阪大学・歯学部・教授	長島　正	研究の総括を担当	令和５年４月１日～令和６年３月 31 日	1,260,171	3,383,000
鹿児島大学・医歯学域歯学系・教授	田口　則宏	共通評価項目の見直しおよび評価システムの仕様検討	令和５年４月１日～令和５年６月 30 日、令和５年９月１日～令和６年３月 31 日	200,000	0

北海道医療大学・歯学部・教授	長澤　敏行	共通評価項目の見直し	令和５年９月１日～令和６年２月 28 日	100,000	0
東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授	新田　浩	共通評価項目の見直し	令和５年９月１日～令和５年 12 月 28 日	100,000	0
日本歯科大学・生命歯学部・准教授	大澤　銀子	共通評価項目の見直し	令和５年９月１日～令和５年 12 月 28 日	100,000	0
新潟大学・医歯学総合病院・助教	秋葉　奈美	評価システムの仕様検討	令和５年４月１日～令和５年６月 30 日、令和５年 12 月１日～令和６年３月 31 日	100,000	0
九州大学・歯学研究院・教授	和田　尚久	共通評価項目の見直し	令和５年９月１日～令和５年 12 月 28 日	100,000	0
東京大学・医学部附属病院・教授	木内　貴弘	評価システムの開発	令和５年４月１日～令和５年６月 30 日、令和５年 12 月１日～令和６年３月 31 日	4,500,000	0
大阪大学・歯学部附属病院・准教授	野﨑　剛徳	評価システムの試用	令和５年６月１日～令和６年３月 31 日	100,000	0

（２）研究実施日程

研究実施内容	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
評価システムの試用			長島　正									
			野崎剛徳									
共通評価項目の見直し						長島　正						
						田口則宏						
						長澤敏行						
						新田　浩						
						大澤銀子						
						和田尚久						

評価システムの仕様検討	長島　正 田口則宏 秋葉奈美 木内貴弘							長島　正 田口則宏 秋葉奈美 木内貴弘	
評価システムの開発	長島　正 木内貴弘								長島　正 木内貴弘 野崎剛徳

（注）研究代表者、研究分担者別に作成すること

（３）．研究成果の説明

研究の目的：
本研究の初年度において、臨床実習と臨床研修において共通で使用できる評価項目を策定するとともに、この評価項目を登載した、新しいオンライン臨床研修評価システムを開発した。今年度は、開発された評価システムを実際の臨床研修にて試用し、その機能および操作性を改善し、歯科医師臨床研修における標準的な評価システムとして使用できるようにすることを目的として実施した。

研究結果の概要：
前年度に開発したオンライン評価システムを、令和 5 年度に実施されている臨床研修の現場にて試用し、研修歯科医、指導歯科医から使用した感想および改善点などを聴取した。それに基づいて、評価項目の見直し、システムの改善などを行い、臨床実習から臨床研修に一貫して活用できるオンライン評価システムを完成させた。

研究の実施経過：
まず、新しい評価システムの1つのコンポーネントである学習履歴管理システムにて収集された各研修歯科医の経験症例数を、臨床研修評価システムに集計・表示する機能を開発した。その後、令和5年6月から12月の7か月間、大阪大学歯学部附属病院にて実施されている歯科医師臨床研修にて本システムを試用し、研修歯科医および指導歯科医に聞き取り調査を行うことで要改善事項を抽出した。抽出された事項にしたがって、① 前年度策定した153項目からなる共通評価項目を見直して175項目に整理、②学習履歴管理システムと臨床研修評価システムの連携がさらに緊密かつ確実に行われるよう機能追加、の各項目について作業を行った。
評価項目の見直しについては、本システムを利用した研修歯科医から「一連の治療操作を同日に実施した際に、同じ入力操作を何度も繰り返さねばならなく、操作が煩雑に感じる」との意見に対応するため、新しく項目を追加することで対応することとした。一方、本評価システムでは臨床研修評価システムが研修歯科医および指導歯科医のIDおよびパスワードなどを管理しているが、複合型研修にて研修歯科医の所属施設が変更となった場合にも問題なくデータが管理できるようマスタファイルの参照手順などを見直した。
本システムを利用した指導歯科医からその有用性の高さが報告されている事から、今後、歯科医師臨床研修の標準的な評価システムとしての地位を確立できる可能性が高いと思われる。

研究成果の刊行に関する一覧表：現状では該当なし

研究成果による知的財産権の出願・取得状況：該当なし

研究により得られた成果の今後の活用・提供：
本研究にて開発されたオンライン臨床研修評価システムは、UMIN センターが窓口となって利

別添４

令和５年度厚生労働科学研究費補助金
（政策科学総合研究事業（臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業））

分担研究報告書

臨床実習と臨床研修で使用できる共通評価項目の見直しに関する研究

研究代表者　長島　正（大阪大学教授）
研究分担者　田口則宏（鹿児島大学教授）
長澤敏行（北海道医療大学教授）
新田　浩（東京医科歯科大学教授）
大澤銀子（日本歯科大学准教授）
和田尚久（九州大学教授）

研究要旨
臨床実習から臨床研修へ一貫して利用できるオンライン評価システムにて使用するために前年度に策定した共通の学習項目ついて、開発されたオンラインシステムを臨床研修で運用した結果を踏まえ、研修歯科医の入力効率向上と指導歯科医による適切な評価実施を目的として見直し作業を実施した。その結果、175項目からなる共通評価項目が策定されるとともに、それらの項目と臨床研修の到達目標のうちＣ領域の各項目との関連付けが示された。

Ａ．研究目的

令和３年３月に実施された歯科医師臨床研修制度見直しに伴い改訂された新しい到達目標に対応した新オンライン評価システム開発にあわせ、昨年度の本研究にて臨床実習と臨床研修で使用できる153項目からなる共通評価項目（以下、共通評価項目）を策定した。策定された評価項目を、昨年度の本研究にて開発されたオンライン臨床研修評価システム（以下、評価システム）に搭載し、令和５年度に実施された大阪大学歯学部附属病院での臨床研修において試用したところ、研修歯科医、指導歯科医の双方から種々のレポートが提出され、その中には評価項目の見直しを要望するものも散見された。

そこで本研究は、昨年度策定された共通評価項目を見直すことによって、開発されたオンライン臨床研修評価システムの操作姓を改善させ、さらに指導歯科医が研修歯科医の適切な評価を行いやすくすることを目的として実施した。

Ｂ．研究方法

本研究には、昨年度本研究にて策定された共通評価項目と、同じく本研究にて開発された評価システムを用いた。まず、共通評価項目を評価システムに登載し、正しく動作することを確認した上で、令和５年度に大阪大学にて実施された臨床研修にて試用した。令和５年７月から１２月までの６か月間の試用ののち、研修歯科医、指導歯科医からシステム操作性に関する聞き取り調査を実施し、その中から共通評価項目に関する事項を抽出した。抽出された情報に加え、次年度から本評価システムの導入を希望する臨床研修施設の指導歯科医から共通評価項目に対する要望を聴取し、これらの情報を分析することで、改訂された共通評価項目を作成した。さらに、作成さされた評価項目と臨床研修の到達目標のうちＣ領域の各項目と関連性を検討し、両者の紐付けルールを作成した。

（倫理面への配慮）

本研究実施にあたっては、特に研修歯科医および指導歯科医への聞き取り実態調査において、各個人に関わる情報あるいは各大学に関わる情報については一切取り扱わないよう徹底することで、倫理面に対して万全の配慮を行った。

Ｃ．研究結果

今年度本システムを試用した研修歯科医および指導歯科医、および次年度に本評価システム導入予定施設の指導歯科医から聴取した内容を検討した結果、従来の153項目に新たな項目を加え、175項目からな

る共通評価項目を作成した（別添資料1）。これら175項目を策定するにあたり、前年度同様、項目間の粒度の差が可能な限り小さくなるよう努めたが、様々な条件下にある多くの施設にて利用可能であることを優先させた結果、それらの差を埋めることは非常に困難であった。さらに、研修歯科医から要望の高かった評価入力にかかる労力を軽減できる方策として、一連の項目を一括して登録できるよう、項目の追加を図った。

さらに、これらの学習項目と歯科医師臨床研修の研修目標のＣ領域との関連付けを検討した。その結果、別添資料２に示すとおり各々の研修目標に対して１～26個の学習項目が関連付けられた。

D．考察

今回の共通評価項目見直しにあたっては、本項目に従って評価を登録する研修歯科医の声を参考とし、入力にかかる労力の軽減を図った。昨年策定した共通評価項目は、様々な研修実態に対応できることを意識して比較的細切れに項目を設定していた。例えばコンポジットレジン修復（単純）では、診断、治療法選択、形成、充填、研磨の5項目から構成されている。このように設定することで診断のみ自験した場合でも登録でき、より詳細な実態把握が可能となるが、ある程度経験を重ね、一連の操作を一度に実施した場合、多くの項目を入力せねばならず、入力が煩わしく感じるとの声が聞かれた。そこで、あらたに「コンポジットレジン修復（単純）（一連）」という項目を設定し、同日に一連の治療を行った場合の入力操作を簡便にした。このように対応することの欠点としては、前年度の共通項目策定時にも課題となった、各項目の粒度がさらに複雑となることが考えられる。しかし、現状では学習者の経験した症例数から研修修了に必要な症例数を自動的に計算できるシステムの構築は予定されていないことから粒度の違いは大きな問題とはなりにくく、実際に本システムを操作する研修歯科医の声に耳を傾けた対応として、今回の対応は望ましいものであると考える。

E．結論

昨年度策定した、共通評価項目にて評価システムを運用し、研修歯科医および指導歯科医の声を参考として検討し、新たに175項目からなる共通評価項目を設定した。

F．健康危険情報

該当なし

G．研究発表

なし

H．知的財産権の出願・登録状況

なし

（資料１）　臨床実習と臨床研修の共通評価項目

整列用ID	連携用ID	大項目	中項目	小項目
1101	1	医療面接	医療面接	病歴聴取
1102	2			問題点抽出
1103	3			診療録記載
1104	4			診断結果説明
1105	185			治療計画立案
1106	5			治療方針説明
2101	6	診察の基本	バイタルサイン	血圧測定
2102	7			脈拍測定
2103	242			バイタルサイン(1口腔単位)
2201	8		頭頸部の診察	顔貌の観察
2202	9			顎関節の観察
2203	10			筋の診察
2204	11			リンパ節の診察
2205	243			頭頸部の診察(1口腔単位)
2301	12		口唇・口腔内の診察	口唇の診察
2302	13			口腔内診察
2303	15			概形印象
2304	16			研究模型の作製
2305	244			口唇・口腔内の診察(1口腔単位)
2401	186		医療安全・感染予防	医療安全
2402	187			感染予防
2501	188		チーム医療	歯科衛生士との協働
2502	189			歯科技工指示書
2503	190			処方箋作成
2504	191			医療連携
2601	192		リハビリ	口腔機能訓練
2602	245			リハビリ(一連)
2701	193		保険診療	レセプト作成
3101	19	画像検査	デンタル撮影法	部位選択
3102	20			撮影法選択
3103	21			撮影枚数選択
3104	22			必要性説明
3105	23			放射線防護
3106	24			撮影
3107	26			読影
3108	27			結果説明
3109	246			デンタル撮影(1口腔単位)
3201	194		パノラマエックス線撮影法	必要性説明
3202	195			放射線防護
3203	196			撮影
3204	197			読影
3205	198			結果説明
3206	247			パノラマＸ線撮影(1口腔単位)
3301	199		CBCT.MDCT	必要性説明
3302	200			読影
3303	201			結果説明
3304	248			CBCT,MDCT(1口腔単位)
4101	227	その他検査	歯内療法	歯髄電気診
4102	228			その他歯髄検査
4103	82			EMR
4104	249			歯内療法(1口腔単位)
4201	89		歯周治療	歯周組織検査
4301	229		補綴系検査	咬合検査
4302	230			顎運動関連検査
4303	231			咀嚼能力検査
4304	232			口腔機能低下症の検査
4305	250			補綴系検査(1口腔単位)
5101	31	地域医療	地域医療	地域医療
5102	202			多職種連携
5103	203			周術期口腔管理
5104	233			歯科検診
5105	251			離島診療
6101	35	口腔外科	単純抜歯	清潔操作
6102	36			器材準備
6103	37			滅菌手袋装着
6104	38			術野消毒
6105	204			局所麻酔
6106	41			単純抜歯
6107	252			単純抜歯(一連)
6201	205		口唇・口腔内小手術	清潔操作
6202	206			器材準備
6203	207			滅菌手袋装着
6204	208			術野消毒
6205	209			局所麻酔
6206	210			小手術の実施
6207	253			口唇・口腔内手術(一連)
6301	211		入院症例	入院症例
7101	234	保存修復	う蝕処置	う蝕処置
7102	45		コンポジットレジン修復（単純）	診断
7103	46			治療法選択
7104	47			形成
7105	48			充填
7106	49			研磨
7107	254			コンポジットレジン修復(単純)(一連)

※　背景が黄色のセルは、追加・修正のあった項目を示す

整列用ID	連携用ID	大項目	中項目	小項目
7201	51		コンポジットレジン修復（複雑）	診断
7202	53			治療法選択
7203	54			形成
7204	55			隔壁
7205	56			充填
7206	57			研磨
7207	255			コンポジットレジン修復(複雑)(一連)
7301	59		インレー修復	診断
7302	60			治療法選択
7303	61			形成
7304	62			印象採得
7305	63			咬合採得
7306	64			仮封
7307	65			試適
7308	66			調整
7309	67			装着
7310	256			インレー修復(一連)
7401	69		象牙質知覚過敏処置	象牙質知覚過敏処置
7402	70		歯の漂白・変色歯の処置	歯の漂白・変色歯の処置
7501	71	歯内療法	覆髄，断髄等	覆髄法
7501	72			断髄法
7503	73			IPC
7504	74			アペキシフィケーション
7601	80		根管治療	ラバーダム
7602	81			髄腔開拡
7603	83			根管拡大
7604	84			根管洗浄
7605	85			根管貼薬
7606	86			根管充填
7607	87			予後観察
7608	257			根管治療(一連)
7701	90	歯周治療	歯周基本治療	診断
7702	91			治療計画
7703	92			プラークコントロール指導
7711	258			プラークコントロール指導(定期管理)(一連)
7704	235			PMTC
7705	93			スケーリング
7706	94			ルートプレーニング
7707	95			生活習慣指導
7708	236			咬合調整
7709	96			暫間固定
7710	97			リコール説明
7712	259			歯周基本治療(一連)
7801	98		メインテナンス	メインテナンス
7901	99		歯周外科手術	歯周外科手術
8101	103	補綴	クラウン・ブリッジ	支台築造
8102	104			形成
8103	105			印象採得
8104	106			咬合採得
8105	107			暫間補綴
8106	108			試適
8107	109			調整
8108	110			装着
8109	112			補綴装置等の除去
8110	237			補綴装置等の脱離
8111	260			クラウン・ブリッジ(一連)
8201	116		可撤性床義歯	設計
8202	115			治療計画
8203	117			前処置
8204	118			筋圧形成
8205	119			印象採得
8206	120			咬合採得
8207	121			人口歯選択
8208	122			蝋義歯試適
8209	123			装着
8210	212			装着時の患者指導
8211	126			義歯調整
8212	127			義歯修理
8213	261			可撤性床義歯(一連)
8301	128		インプラント	インプラント
8401	129		顎関節症	顎関節症
8501	240		高齢者に対する治療	高齢者への治療の実践
9101	213	専門治療、他	小児歯科	フッ化物塗布
9107	262			フッ化物塗布(定期管理)(一連)
9102	214			予防填塞
9108	263			予防填塞(定期管理)(一連)
9103	215			乳歯冠修復
9104	216			乳歯抜歯
9105	217			保隙装置の製作
9106	218			保護者へのブラッシング指導
9201	238		障害者歯科	障害者に対する歯科治療
9301	219		矯正歯科	成長期症例の診察
9302	220			矯正装置の説明
9303	221			検査・診断・計画
9304	222			矯正装置の製作
9401	223		歯科麻酔	局所麻酔
9402	224			全身麻酔症例
9403	225			ペインクリニック
9501	226		放射線	放射線治療
9601	241		救急処置	急性症状への対応
9701	239		保健所	保健所での見学研修

（資料２）C領域の到達目標と共通評価項目の紐付け

C. 基本的診療業務

1. 基本的診療能力等

到達目標	評価の視点および観点	連携用e-Logbook ID
(1)　基本的診察・検査・診断・診療計画		
①　患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。（必修）	初診時医療面接、再診時医療面接など	1, 3
②　全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。（必修）	口腔内診察、頭頸部診察、各種臨床検査の必要性の判断など	6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 242, 243, 244
③　診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。（必修）	エックス線検査、咬合検査、顎運動関連検査、咀嚼能力検査、歯周組織検査、歯髄電気診、口腔機能低下症の検査など	19, 20, 21, 22, 23, 24, 26, 27, 194, 195, 196, 197, 198, 199, 200, 201, 227, 228, 82, 89, 229, 230, 231,232, 246, 247, 248, 249, 250
④　病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。（必修）	担当患者の診断に関する口頭試問、カンファレンスへの参加など	2, 4, 242
⑤　診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。（必修）	治療計画に関するカンファレンス参加、プロトコール作成など	185
⑥　必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。（必修）	患者への病状説明、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンへの理解、同意書の取得など	4, 185, 5
(2)　基本的臨床技能等		
①　歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。（必修）	口腔衛生指導、フッ化物の塗布、PMTC、歯冠研磨など	92, 213, 214, 233, 187, 258, 262, 263
②　一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。（必修）		
a.歯の硬組織疾患	う蝕処置、コンポジットレジン修復、インレー修復など	234, 45, 46, 47, 48, 49, 51, 53, 54, 55, 56, 57, 59, 60, 61, 62, 63, 54, 65, 66, 67, 69, 223, 187, 254, 255, 256
b.歯髄疾患	覆髄、抜髄、感染根管処置など	71, 72, 73, 74, 80, 81, 83, 84, 85, 86, 87, 187, 257
c.歯周病	歯周基本治療（スケーリング・ルートプレーニング、TBI、咬合調整、暫間固定）など	90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99,236, 187, 259
d.口腔外科疾患	抜歯、消炎処置、切開、縫合など	35, 36, 37, 38, 204, 41, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 187, 252, 253
e.歯質と歯の欠損	歯冠補綴、欠損補綴など	103, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 110, 112, 116, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 212, 126, 187, 260, 261
f.口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	口腔機能管理、口腔機能訓練の指導など	192, 187, 245
③　基本的な応急処置を実践する。（必修）	急性症状、修復物脱離、義歯破損などへの対応など	241, 233, 127, 187
④　歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。（必修）	バイタルサインの測定など	6, 7
⑤　診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。（必修）	診療録の記載、技工指示書、診療情報提供書の記載など	3, 189, 190, 191, 193
⑥　医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。（必修）	インシデントレポートの意義の説明、記載など	186
(3)　患者管理		
①　歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。（必修）	セミナーへの参加、レポートの作成、全身疾患や服用薬剤に関する理解、お薬手帳の内容確認など	1
②　患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。（必修）	関連医療機関との診療情報の共有など	191
③　全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。（必修）	術前・中・後のバイタルサインの確認、全身管理計画の立案など	211, 224
④　歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。（必修）	軟組織の損傷、誤飲・誤嚥、BLSの実施（シミュレータでも可）、バイタルサインの解釈、全身状態の評価など	186
⑤　入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。（選択）	担当患者に対する療養上の管理など	211
(4)　患者の状態に応じた歯科医療の提供		
①　妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。（必修）	患者のライフステージに応じた総合診療計画の立案など	213, 214, 215, 216, 217, 218, 240
②　各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。（必修）	小児、成人、高齢者それぞれの治療の実践など	213, 214, 215, 216, 217, 218, 240
③　在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。（選択）	訪問歯科診療への同行、口腔衛生管理など	31, 202
④　障害を有する患者への対応を実践する。（選択）	障害者歯科治療の体験など	238

2. 基本的診療能力等

到達目標	評価の視点および観点	連携用ID
(1)　歯科専門職間の連携		
①　歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。（必修）	歯科衛生士との協働など	188
②　歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。（必修）	技工指示書の作成と歯科技工士への依頼など	189
③　多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。（必修）	連携口腔ケア、NSTへの参加など	188, 189, 190, 191
(2)　多職種連携、地域医療		
①　地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。（必修）	地域包括ケアセンターのレクチャー、見学など	31, 202
②　地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。（必修）	在宅歯科医療、地域歯科医療についてのレクチャー、見学など	31, 202
③　在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。（選択）	連携口腔ケア、NST、高齢者福祉施設への訪問歯科などへの参加など	31, 202
④　訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。（選択）	訪問歯科診療での医療・介護関係職種との連携など	202
⑤　離島やへき地における地域医療を経験する。（選択）	離島、へき地診療の同行、見学など	31, 251
⑥　がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。（選択）	周術期等口腔管理において、チーム医療への参加など	203
⑦　歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。（選択）	連携口腔ケア、NST、ICT、高齢者福祉施設への訪問診療に参加など	202
⑧　入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。（選択）	退院支援チームへの参加など	211
(3)　地域保健		
①　地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。（必修）	セミナーへの参加、保健所での見学など	239
②　保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。（必修）	セミナーへの参加、保健所での見学など	239
③　保健所等における地域歯科保健活動を経験する。（選択）	セミナーへの参加、保健所での見学など	239
④　歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。（選択）	学校歯科検診への参加など	233
(4)　歯科医療提供に関連する制度の理解		
①　医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。（必修）	セミナーへの参加、関連法規の理解など	
②　医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。（必修）	保険制度に関するセミナーへの参加、保険診療への参加、保険点数の算定など	193
③　介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。（必修）	セミナーへの参加、訪問歯科診療への参加、介護保険制度の理解など	31, 202

※　赤字の項目は追加・修正のあった項目を示す

令和４年度厚生労働科学研究費補助金
（政策科学総合研究事業（臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業））

分担研究報告書

評価システムの改修

研究代表者　長島　正（大阪大学教授）
研究分担者　田口則宏（鹿児島大学教授）
木内貴弘（東京大学教授）
秋葉奈美（新潟大学助教）
野﨑剛徳（大阪大学准教授）

研究要旨
初年度にはe-logbookの個別症例データをDEBUT2に取り込めるよう、両システム間のデータ交換規約を作成するとともに、e-logbook側ではデータ送信インターフェースソフトウェアを、DEBUT側では症例データ受信インターフェイスソフトウエアの開発を行った。今年度は、症例データを取り込んだDEBUT側で、それを研修歯科医あるいは指導歯科医が確認するための画面構成を検討し、必要なソフトウェアの開発を行った。本研究の成果により、DEBUTに取り込まれたe-logbookの症例データを到達目標を評価するための参考として活用することがより簡便となり、客観性と信頼性をもった評価を行うための環境を整えることができた。

A. 研究目的

厚生労働省が求める歯科医師臨床研修プログラムには、研修目標とともに、研修修了のために必要な経験症例数の記載が求められている。しかし、プログラム上に記載された症例数は、そのカウント方法が必ずしも研修歯科医の実経験症例数と一致しておらず、指導歯科医の裁量によって決定することができる。一方で、指導歯科医が症例数を決定する際にその根拠となる実経験症例数を提示できることは、客観性および信頼性の高い評価を行うために必須の機能であると思われる。

本研究の初年度では、この実経験症例数を評価システムに取り込むためのインタフェースを設計し、そのために必要なソフトウェアの開発を行った。今年度は取り込まれた症例数を表示し、研修歯科医の自己評価あるいは指導歯科医の評価を支援するインターフェースの設計および開発を行うことを目的として研究を行った。

B. 研究方法

e-logbookから取り込んだ個別症例データはDEBUT2で研修目標ごとに集計し、表示する方式を採用した。具体的には、DEBUT2がすでに保有している到達目標のC領域に対する評価画面を改修し、目標ごとに自験症例数、介助症例数、見学症例数を表示した。DEBUT2はWEBアプリケーションとして開発されており、操作はWEBブラウザを介して行う。したがって、パソコン、タブレット、スマートフォンなど様々な端末にて操作できるようレスポンシブデザインが採用されている。

C. 結果

DEBUT2では、厚生労働省が定める臨床研修到達目標のC領域に対する評価は評価表Ｉとしてまとめられている。IDおよびPWを用いてDEBUT2にログイン後、評価表Ｉを選択すると、図に示したような画面が表示される。この画面はC領域の、(1)基本的診察・検査・診断・治療計画のうち、「①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。」という到達目標に対する評価を入力することができる。この到達目標には、e-logbookでの評価項目のうち、医療面接の病歴聴取および診療録記載が紐づけられており、それに対する症例数の集計結果が、自験、介助、見学に分けて表示される。指導歯科医はこの症例数を参考として、その上部に表示されている「認定症例数」のボックスに認定できる症例数を入力し、さらに上部の担当指導歯科医評価欄にこの段階での到達レベルを、指導歯科医の介助の下で実施可能、指導歯科医の監視の下で実施可能、単独で実施可能、後進の指導ができ

評価票I
(1．基本的診療能力)

評価票I
(2．歯科医療に関連する連携と制度の理解等)

評価票II

評価票III

レベル			指導歯科医の介助の下で実施可能	指導歯科医の監視の下で実施可能	単独で実施可能	後進の指導ができる	観察機会なし
(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画							
①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	評価人数	上級歯科医	0	0	0	0	0
		歯科医師以外	0	0	0	0	0
	担当指導歯科医評価		✓	✓	✓	✓	✓
	平均						
	経験症例		認定症例数: (必要症例数：5)				
			症例名称	自験	介助	見学	
			医療面接 病歴聴取	13	1	0	
			医療面接 診療録記載	10	0	0	
②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施	評価人数	上級歯科医	0	0	0	0	0
		歯科医師以外	0	0	0	0	0
	担当指導歯科医評価		✓	✓	✓	✓	✓
	平均						
			認定症例数: (必要症例数：5)				

図 DEBUT での評価入力画面の例（スマートフォンでの表示例）

評価表 I （到達目標の C 領域に対する評価を行うページ）において、目標ごとに経験症例として、当該目標と紐づけられた研修実績（e-logbook に入力され、指導歯科医が承認した症例数）が一覧表として表示される。指導歯科医はこの数字を参考に認定症例数を決定・入力するとともに、その上段に評価結果を入力する。

る、の4段階で評価できる。「観察機会なし」は、当該期間にこの目標を経験する機会がなかった場合に選択する。

D．考察

これまでのDEBUTでは、到達目標の研修歯科医と指導医による評価、研修歯科医による指導歯科医評価、施設評価、研修プログラム評価を行う機能を有していたが、症例データのを参照する機能を有しておらず、別途Excel等で管理した症例データを参照しながら評価を行う必要があった。今回、e-logbookはにより登録された症例データを取り込み、それを評価画面に集計・表示する機能を搭載したことにより、到達目標を評価するための参考として症例データを活用することが可能となり、より正確に評価が行えるようになった。このことは、研修歯科医に対して正しく評価できるだけでなく、多くの国費を費やして実施されている臨床研修制度において、国民に対する説明責任果たす上で大きな意味を持っており、その意義は大きいと考えられる。

E．結論

DEBUTに取り込んだ症例データを評価画面に集計・表示するためのソフトウェアを開発した。本機能の追加により、DEBUTでの評価入力時にe-logbookで入力した症例データを参照することが可能となった。

F．健康危険情報

該当なし

G．研究発表

なし

H．知的財産権の出願・登録状況

なし

別添５

研究成果の刊行に関する一覧表

本研究成果について、現時点では書籍、雑誌とも未刊行です。

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書　籍　名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

令和６年５月１日

厚生労働大臣　殿

機関名　　国立大学法人大阪大学

所属研究機関長　職　名　　歯学部長

氏　名　　西村　理行

次の職員の令和５年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究　　（　22AC1001　）

３．研究者名　（所属部署・職名）　　歯学部附属歯学教育開発センター・教授

（氏名・フリガナ）　　長島　正・ナガシマ　タダシ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和６年３月８日

厚生労働大臣
(~~国立医薬品食品衛生研究所長~~)　殿
(~~国立保健医療科学院長~~)

機関名　　国立大学法人鹿児島大学

所属研究機関長　職　名　　学長

氏　名　佐野　輝

次の職員の令和５年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究　（　22AC1001　）

３．研究者名　（所属部署・職名）　医歯学域歯学系・教授

（氏名・フリガナ）　田口　則宏・タグチ　ノリヒロ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □(無の場合はその理由:　)
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □(無の場合は委託先機関:　)
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □(無の場合はその理由:　)
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年3月27日

厚生労働大臣
（国立医薬品食品衛生研究所長）　殿
（国立保健医療科学院長）

機関名　北海道医療大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　浅　香　　正　博

次の職員の平成５年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　令和５年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業））

２．研究課題名　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　歯学部・教授

（氏名・フリガナ）　長澤敏行・ナガサワトシユキ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	無☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	無☑	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	無☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	無☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 6年 2月　5日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人東京医科歯科大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　田 中　雄 二 郎

次の職員の令和５年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　大学院医歯学総合研究科　・　教授

（氏名・フリガナ）　新田　浩　・　ニッタ　ヒロシ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和６年　４　月　１　日

厚生労働大臣
（国立医薬品食品衛生研究所長）　殿
（国立保健医療科学院長）

機関名　日本歯科大学

所属研究機関長　職　名　学　長

氏　名　藤井　一維

次の職員の令和５年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究　（　22AC1001　）

３．研究者名　（所属部署・職名）　日本歯科大学附属病院　総合診療科・　准教授

（氏名・フリガナ）　大澤　銀子（オオサワ　ギンコ）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024 年　　3 月　　28 日

厚生労働大臣
(~~国立医薬品食品衛生研究所長~~)　殿
(~~国立保健医療科学院長~~)

機関名　　国立大学法人　新潟大学

所属研究機関長　職　名　　学長

氏　名　　牛木　辰男

次の職員の令和５年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究　（　22AC1001　）

３．研究者名　（所属部署・職名）　医歯学総合病院・助教

（氏名・フリガナ）　秋葉　奈美・アキバ　ナミ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	☑	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年　3月　19日

厚生労働大臣
(~~国立医薬品食品衛生研究所長~~)　殿
(~~国立保健医療科学院長~~)

機関名　国立大学法人九州大学

所属研究機関長　職　名　総長

氏　名　石橋　達朗

次の職員の令和５年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究　（　22AC1001　）

３．研究者名　（所属部署・職名）　歯学研究院・教授

（氏名・フリガナ）　和田 尚久　（ワダ ナオヒサ）

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和６年２月２０日

厚生労働大臣 殿

機関名　国立大学法人東京大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　藤井　輝夫

次の職員の令和５年度厚生労働科学研究費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）　医学部附属病院・教授

（氏名・フリガナ）　木内　貴弘・キウチ　タカヒロ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和６年５月１日

厚生労働大臣　殿

機関名　　国立大学法人大阪大学

所属研究機関長　職　名　　歯学部附属病院長

氏　名　　山城　隆

次の職員の令和５年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　　政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業）

２．研究課題名　　歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究　　（　22AC1001　）

３．研究者名　（所属部署・職名）　　口腔総合診療部・准教授

（氏名・フリガナ）　　野﨑 剛徳・ノザキ タケノリ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学･医学系研究に関する倫理指針（※3）	□	■	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□	■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□	■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□	■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。